

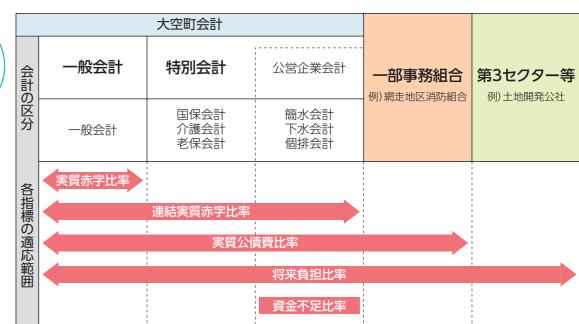
大空町の財政健全化判断比率

財政健全化法で、毎年度、赤字の割合や借金の状況などを全国統一的な指標として算定し、その指標を監査委員の審査に付したうえで、議会に報告し、その数値を公表することが定められています。

公表する数値は、市町村の財政状況を①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4つの財政健全化判断比率と、地方公営企業における⑤資金不足比率の経営健全化比率です。

平成22年度決算に基づく大空町の指標は次表のとおりです。

対象となる会計の範囲



⑤ 資金不足比率

区分上公営企業に区分される簡易水道事業・下水道事業・個別排水処理事業の各特別会計の赤字の額が使用料収入などの営業収益に対してどれだけあったかを比率であらわします。

大空町は3事業会計とも黒字と なっておりますので、該当がありま せん。

※6 町税や地方交付税などその年度に標準的に収入されるであろうと思われる額です。大空町の平成22年度一般会計歳入総額は93億円ですが、標準財政規模は、56億円です。

国や道から補助金や使用料、手数料などは、 財政規模には含まれないので、歳入総額よりも 小さな規模になります。

4) 将来負担比率

町債などの借金の残高や職員全員が自己都合退職した場合の退職金の見込み額など将来負担する可能性がある額が標準財政規模(※6)に対してどれだけあるかを指標化したものです。大空町の算定結果は次表のとおりとなりました。平成21年度決算と比較すると**25.4ポイント改善したことになります。**

町債の残高は、平成18年3月の合併時と平成22年度末を比較すると、合併後の**5年間で33億3千万円減少しています。**

H22決算	H21決算	比較	全道
64.4%	89.8%	▲ 25.4%	97.6%

〈基金等残高〉 合併時 32億3,392万円 ↓ 5億2,984万円増加 平成22年度 37億6,376万円

③ 実質公債費比率

その年度の歳入のうち借金返済に充てた額が標準財政規模(※6)に対してどれだけあったかを比率であらわします。大空町の算定結果は次表のとおりとなりました。平成21年度決算時から3.5ポ

イント改善したことになります。

全道平均と比較すると「高い」と言わざるを得ませんが、今後も着実に改善していくと見込んでいます。

数値を下げることばかりにとらわれるのではな く、「必要な投資」「身の丈に合った投資」をしっか りと見極めて取り組むことが大事であると考えて おります。

H22決算	H21決算	比 較	全道
17.9%	21.4%	▲3.5%	12.8%

1) 実質赤字比率

その年度の一般会計の赤字の額が、その自治体の標準財政規模(**6)に対してどれだけあったかを比率であらわします。

大空町一般会計は、歳出より歳入の方が多く黒 字であったため、該当がありません。

② 連結実質赤字比率

上記実質赤字比率と同じく赤字の比率ですが、 この指標は一般会計のほか国民健康保険事業特別会計など本町が設置している会計全てが対象 となります。

大空町は全会計が黒字であったため、該当があ りません。

プログログログログ 11月 広報おおぞら 2011 CT報告 11月 CT